



# 江野澤吉克県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 椎の森 工業団地

# 工事前倒しも検討へ

## 五輪会場の県内招致を提言



五輪競技会場の招致などを訴える江野澤県議

袖ヶ浦市選出で、県議2期目ながら地域の発展に著実な成果を上げる江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、6月定例県議会では今任期7度目で通算15度目の一般質問に登壇しました。今議会では、東京オリンピック・パラリンピックの競技会場やキャンプ地の県内誘致へ前向きに取り組むよう、県に対し強く提言しました。

また、計画中の袖ヶ浦椎の森工業団地について、江野澤県議が1日も早い完成を要望したのに対し、森田知事は「平成27年度当初には造成工事に着手するが、少しでも早期に分譲ができるよう、工事の前倒しなども検討する」と積極的な姿勢を示しました。有害鳥獣対策などを含め、江野澤県議の主な質疑を特集しました。

### 6月定例県議会一般質問から

江野澤議員 2020

年東京オリンピック・パラリンピックでは、現在のところ残念ながら本県に競技会場の予定はありません。しかし、1964年の東京オリンピックでは、本県が近代五種競技クロスカントリーの会場となりました。千葉県は、東京に隣接し、わが国の空の玄関である成田空港を擁しており、国際的なスポーツイベントの開催地としては、最高の場所であると自負しています。

今後、競技団体等から、本県での競技会場設置について具体的な要望があった場合には、ぜひ真摯に受け止め前向きに検討し、千葉県にオリンピック・パラリンピックの競技会場を誘致していただくことを強く要望します。

そこで、伺います。今後、県はキャンプ地招致に向け、積極的に取り組んでいくべきと思うかどうか。

諸橋副知事 キャンプ地誘致は、世界の一流選手と触れ合う絶好の機会であり、スポーツ振興や地域のイメージアップ・活性化につながることを期待されます。

また、世界中から来訪する多くの選手や見学者に本県の魅力を知っていただくとともに、世界に向けて広く千葉県をアピールする機会ともなります。

このため、今後は県・市町村・民間企業・ボランティア団体等が一体となった「オール千葉」体制を整えた上で、キャンプ地招致を検討している市町村等とも連携しながら、積極的に取り組んでまいります。

要望  
6月12日に日本  
クレイ射撃協会の

### 工業団地へ誘致展開

江野澤議員 私は、袖ヶ浦椎の森工業団地については、東京湾アクアラインの料金引き下げと圏央道の整備の進展により、首都圏各地や成田空港・羽田空港への交通アクセスが飛躍的に向上していること、産業が集積している臨海部に近接し、かつ災害に強い内陸の工業団地であることなどから、企業立地の期待が高い工業団地であり、地域経済への波及効果も大きいと考え、これまでも早期事業化を要望してまいりました。

森田知事 袖ヶ浦椎の森工業団地は、昨年度、用地を取得し、県の関係部局や袖ヶ浦市と開発に必要な協議を進め、造成方法や工程を盛り込んだ基本設計を終えたところですが、

本年度は、昨年度に引き続き文化財調査を進めるとともに、4月には工事

各県会長の会議と理事会があり、千葉県が手を上げたなら、国際空港もあるし、選手村からも近くて最高だ、という話をいただいた。東京国体の時は、千葉県で競技をさせていただいた。そうした意味でも、千葉県にぜひ誘致をしようという気持ちで、働きかけを知事をお願いしたい。

1世紀に1回か2回しか来ないオリンピックを、どうか千葉県で大会ができるようにご協力をたまりたい。

●県政と袖ヶ浦市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

えのさわ吉克 県事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

を担当する君津土木事務所「袖ヶ浦市椎の森工業団地建設課」を新設したところであり、連携を図りながら実施設計を行ってまいります。

平成27年度当初には造成工事に着手することとしていますが、少しでも早期に分譲ができるよう、工事の前倒しなども検討して進めてまいります。

椎の森工業団地は、飛躍的に交通アクセスが向上していることが最大の特徴だと考えています。今後は、企業誘致セミナーやダイレクトメールにより情報発信を行うなど、整備と平行して積極的に誘致活動に努めることとしています。



# 有害鳥獣被害は年々増加!

## 県の捕獲体制整備を要望



江野澤議員 千葉県は有害鳥獣による農作物被害は年々増加しており、このまま有害鳥獣が増え続け、被害が収まらなければ農家の方々の生産意欲は減退し、耕作放棄地を増加させてしまうことになります。

環境生活部長 県では野生鳥獣による農作物等の被害対策を推進するため、千葉県野生鳥獣対策本部を設置し、市町村や猟友会等の関係団体と連携のもと、捕獲や防護柵等の対策に、一体的・総合的に取り組んでいます。本年5月には、全国的

者が不足して捕獲が進まない地域もあると聞いています。今後は市町村だけではなく、県が主体的に千葉県猟友会と連携し、そのような地域をバックアップしていくことも考えなければならぬと思います。猟友会と連携し、県内のどこであつても、年間を通して有害鳥獣捕獲を専門的に行える捕獲体制を整える必要があると思うがどうか。

にも問題となっている有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、鳥獣保護法が改正され、鳥獣の捕獲を専門に行う事業者の認定制度が新たに設けられるなど、捕獲体制の強化が図られたところです。

県としては、今後示される予定の国の基本指針を踏まえつつ、県猟友会など関係団体・関係機関の意

## わな猟の免許取得者

江野澤議員 有害鳥獣捕獲事業の担い手となるわな猟免許の取得者数を増やしていく必要があると思うがどうか。

環境生活部長 県では、わな猟免許の所持者数を増やすため、狩猟免許試

見も聞きながら、捕獲体制の整備を検討してまいります。

江野澤議員 他県からの狩猟者を増やす方策を検討していく必要があると思うがどうか。

環境生活部長 今回創設された認定事業者制度の活用なども含め、狩猟者を増やす方策を幅広く検討してまいります。



本会議場で立ち上がって再質問する江野澤県議

江野澤議員 千葉県は有害鳥獣による農作物被害は年々増加しており、このまま有害鳥獣が増え続け、被害が収まらなければ農家の方々の生産意欲は減退し、耕作放棄地を増加させてしまうことになります。有害鳥獣の駆除については、各市町村が各単位猟友会と連携し、駆除隊を編成しているところですが、高齢化等により従事

## 富川橋の架換え工事

江野澤議員 県道長浦上総線に架かる富川橋は、橋全体が老朽化しており、大地震の発生時などの際、その機能が本当に確保できるかどうか懸念しているところです。

また、車道の幅員が狭く、大型車が通行する際には、非常に危険な状況にあります。富川橋架換え工事の着手は、大きな前進であり、早期完成が望まれています。工事の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 富川橋は、昭和33年の竣工で、築後56年が経過した老朽橋であり、耐震性も劣ることから、昨年度から架換え工事に着手したところです。

これまでに架換え作業用構台の設置を完了しており、今年度は現橋撤去を行うとともに



富川橋の架換え工事現場を視察する江野澤県議

## 小櫃川堆積土砂を有効利用

江野澤議員 小櫃川の堆積土砂の有効利用について伺います。土砂の撤去は、これまで継続して行われており、一方で、市内では農地整備や区画整理などの公共事業も行われています。堆積土砂の活用先として、近接する事業に搬入できれば費用の面だけでなく、河川管理と事業者の双方に利益があるのではと考えています。

河川管理の中で、河川の現状容量や堆積土の状況を把握しているのか。例えば、小櫃川であれば、君津・木更津・袖ヶ浦の各市内の概数を示せないものか。現状と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 河川の維持管理は、点検要領や巡視基準等において、目視により状態を確認することとされています。定量的な算定はしておりません。管理上支障が認められた箇所については、その都度、堆積土砂を測定し、除去を行っています。

例えば、小櫃川については、上流域に柔らかい砂岩の層があり、浸食された土砂が下流部に堆積しやすい状況であることから、目視で状況を把握し、支障が認められた箇所について、堆積土の除去を実施しております。

## 工程を調整

江野澤議員 小櫃川周

除去した堆積土砂を、近隣の公共事業などに活用することは、建設発生土の有効利用やコスト削減となることから、今後とも引き続き関係者と工程調整に取り組んでまいります。

に、橋梁下部工事の一部に着手する予定です。今後とも、地元関係者の協力を得ながら、早期完成が図られるよう、事業推進に努めてまいります。